

| | |
|-------------|------------|
| 群 教 セ | G02 - 03 |
| | 令 6. 287 集 |
| | 社会 - 中 |

主体的に学びに向かう生徒の育成

——自ら探究したい課題の設定と、他者の考えに触れ自らの考えを深めたり広げたりする、協働的な学びを通して——

特別研修員 武藤 光道

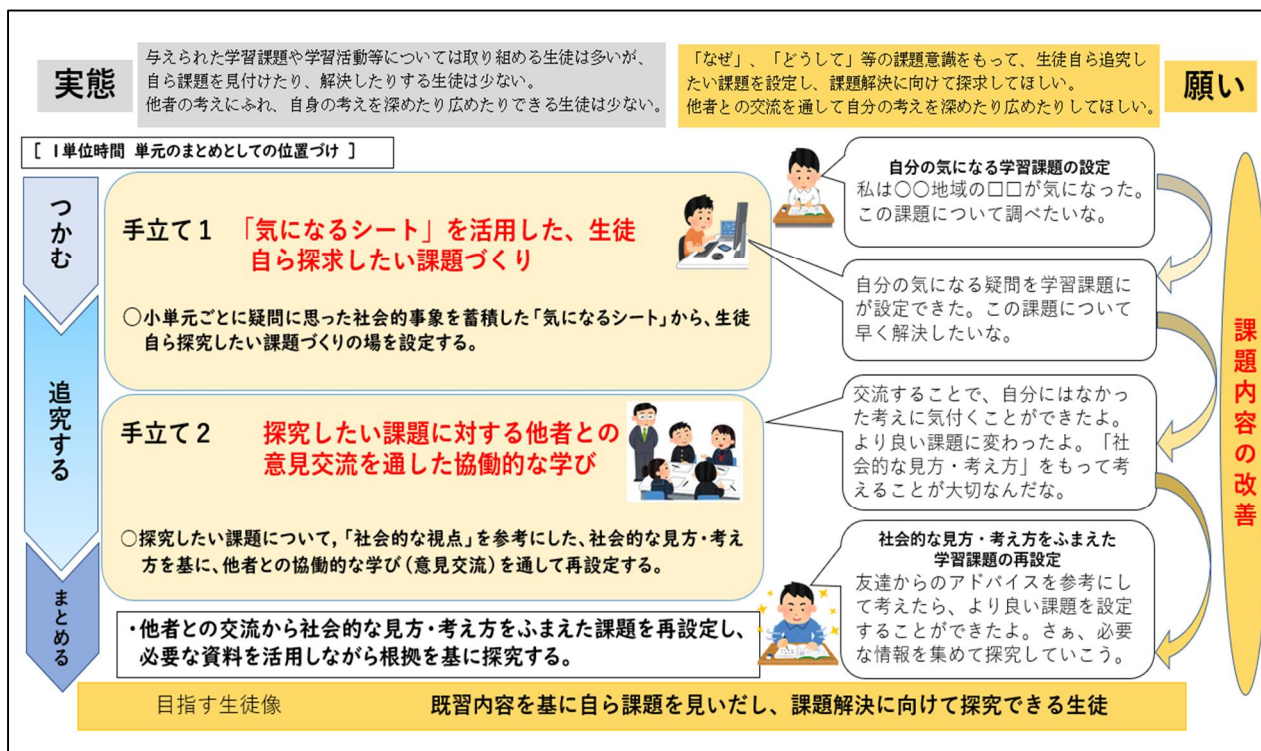
I 研究テーマ設定の理由

中学校学習指導要領（平成29年告示）解説社会編では、社会的事象に関わる課題を探究したり解決したりする活動を取り入れることによって、「主体的・対話的で深い学び」を実現することが求められている。また、令和6年度学校教育の指針では、確かな学力の育成において、各教科等の目標に迫る「主体的・対話的で深い学び」の実現として、「問題解決的な学習、探究的な学習を重視する」「自己決定、対話・交流、試行錯誤の場面を授業の中に取り入れる」といった「授業デザイン」が示されている。

研究協力校では、与えられた学習課題や活動などについては意欲的に取り組める生徒は多いが、生徒自ら課題を見いだしたり、解決したりするといった「自己決定」できる生徒は少ない。また、自らの考えをもって他者と意見交流したり、自らの考えや意見を述べたりする生徒は少ない。そこで、生徒自らが解決したくなる学習課題設定の工夫と他者との協働的な学びが中心となる授業改善を図る必要があると考えた。このような学習活動を継続していくことにより、生徒が興味・関心をもって主体的に学びに向かう態度を養えると考え、上記のとおり主題を設定した。

II 研究内容

1 研究構想図



2 研究上の手立て

既習内容を基に自ら探究したい課題を見だし、他者との交流を通して課題解決に向けて探究できるよう、以下の手立てを設定する。

手立て1 「気になるシート」を活用した、生徒自ら探究したい課題づくり

手立て1における「気になるシート」とは、毎時間、クラウド型表計算アプリを使用して学習の振り返りと生徒が気になる(探究してみたい)疑問を蓄積してきたものである。また、クラウド型表計算アプリの使用により生徒同士で互いの学習状況を共有することができる。全体で単元を貫く学習課題を設定したうえで、「気になるシート」を活用して生徒自ら既習事項を活用しながら探究していきたい学習課題を設定することで、主体的に学びに向かう態度を養うことを目指す。その際、社会的な視点(変化、相違性、課題と解決策等)を意識した学習課題を設定することで社会的な見方・考え方を身に付けられるようにする。

手立て2 自ら探求したい課題に対する他者との意見交流を通じた協働的な学びの場

手立て1を通して設定した学習課題に対して、学習課題が類似している小グループを構成してお互いにアドバイスし合う交流を通して、生徒個々の学習課題を再設定するといった活動を取り入れる。その際、アドバイスしやすいように類似した学習課題をもつ生徒同士のグループを構成する。更に、①単元を貫く学習課題を意識しているか。②学習課題に社会的な視点が入っているか。③他者の学習課題に対して、異なる社会的な視点について提案しているか。以上のような話し合いの視点を与える。多様な考えをもつ生徒同士が考えを交流することで、自分では気付けなかった新たな考えに気付くことができ、思考の広がりや深い学びにつながることを目指す。

Ⅲ 実践例

1 単元名 「世界の諸地域 アジア州」

2 本単元について

本単元は、学習指導要領における「(1)世界のさまざまな地域」の項目「ウ 世界の諸地域」の「(ア)アジア州」にあたる。「各州に暮らす人々の生活の様子を的確に把握できる地理的事象を取り上げ、それを基に主題を設けてそれぞれの州の地域的特色を理解させる」とある。また、主題の設定においては指導者によって設定されるものであるとされていることから、帝国書院の教科書の主題に沿って本単元の探究する主題を「急速な経済成長」とする。

本単元は、基礎的・基本的な知識を習得するとともに、「急速な経済成長を追究する」ことでアジア州の地域的特色を明らかにすることのできる単元である。また、多様な言語や文化をもつアジア州についての理解を深め、成長していくアジア州の地域的特色を捉えることで、日本国民の一員としての自覚や態度を身に付けた社会的な見方や考え方を養うことができると考える。

以上のような考えから、単元では以下のような指導計画を構想し実践した。

| | |
|--------------|---|
| 目 標 | (1) 多様な自然環境や文化、産業がみられるアジア州について、地域ごとにその特色を理解し、地域間の違いからアジア州全体の地域的特色を理解することができる。 (知識及び技能) (2) アジア州の国々が急速に経済発展をしていく理由を、人口増加や他地域との結び付きなどに着目し、多面的・多角的に考察し、自分の言葉で表現することができる。 (思考力、判断力、表現力) (3) 急速な人口増加や経済発展等について、アジア州に暮らす人々に与える影響や、それによって生じる課題に、見通しをもち、学習を振り返りながら主体的に追究しようとしている。 (学びに向かう力、人間性等) |
| 評価 規 準 | (1) 多様な自然環境や文化、産業がみられるアジア州について、地域ごとにその特色を理解し、地域間の違いからアジア州全体の地域的特色を理解している。 (2) アジア州の国々が急速に経済発展をしていく理由を、人口増加や他地域との結び付きなどに着目し、多面的・多角的に考察し、表現している。 (3) 急速な人口増加や経済発展について、アジア州に暮らす人々に与える影響や、それによって生じる課題に、見通しをもち、学習を振り返りながら主体的に追究しようとしている。 |

| 過程 | 時間 | 主な学習活動 |
|------|-----|---|
| つかむ | 第1時 | ・様々な資料から特色を考察する中で、単元を貫く学習課題を設定する。 |
| 追究する | 第2時 | ・世界一の人口集中地域であるアジア州で行われている農業と育まれてきた文化について考え、まとめる。 |
| | 第3時 | ・巨大な人口を抱える中国の急速な経済発展が生じさせた社会の課題について、関連する資料から考え、まとめる。 |
| | 第4時 | ・韓国の文化や産業の特色と首都圏への一極集中による課題について、資料から読み取り、まとめる。 |
| | 第5時 | ・東南アジアの工業化について、外国企業の進出増加やその背景に関連する資料から読み取り、まとめる。 |
| | 第6時 | ・南アジアの文化や産業の発展を人口増加や経済発展と関連付けて考え、まとめる。 |
| | 第7時 | ・原油で得た利益を、交通・通信網の整備や観光業の発展などの分野に活用している背景について考え、まとめる。 |
| | 第8時 | ・アジア州の学習で前時まで蓄積した、学習の振り返りと「気になるシート」を基に、アジア州の急激な経済成長と関連させた学習課題を友達と交流しながら再設定する。 |
| まとめる | 第9時 | ・生徒個々の学習課題について探究し、自分の言葉でまとめる。 |

3 授業の実際

本時は全9時間計画の第8時に当たる。

(1) 手立て1について

前時に毎時間蓄積した「気になるシート」や既習事項をまとめた「アジアカード」もとに、探究したい学習課題とその理由を決定するようにした。その際、自ら決定した課題が単元を貫く学習課題になっていることや「社会的な視点」が入っていることを確認するようにした。学習課題の設定においては、クラウド型表計算アプリを使用した「気になるシート」を効果的に活用し、既習事項を振り返りながら設定することができていた（図1）。以下は「気になるシート」を基に設定した生徒の学習課題である（図2）。

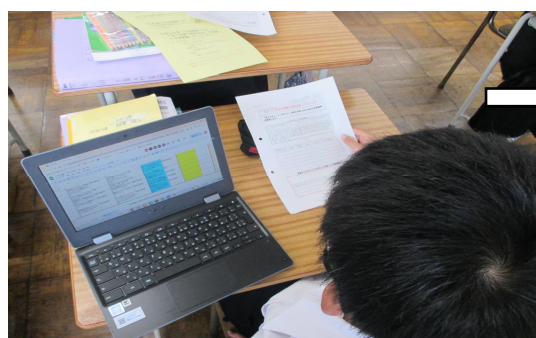


図1 「気になるシート」を基に学習課題を設定している様子

| |
|--|
| S1：中国では、沿海部は経済特区を中心に発展してきたが、内陸部はどのように経済発展をしているのだろうか。 |
| S2：ソウルは一極集中しているが、他の地域とどのような違いや影響があるだろうか。 |
| S3：低賃金で働いている人の暮らしは、どのような面で不自由を感じているか。 |

図2 生徒が設定した学習課題

(2) 手立て2について

手立て1で設定した学習課題をよりよくするための手立てとして、学習課題の内容が類似している小グループでの意見交流の場を設定した。一回目の授業実践に比べて、「話し合いの視点（①～③）」を明確にしたことにより、社会的な見方・考え方をもって他者へアドバイスしている生徒が多く見られた。また、グループ構成を工夫したことで、意見交流が活発に行われるようになった（次ページ図3）。以下は他者へのアドバイスの記述内容（次ページ図4）と生徒の振り返りの記述内容（次ページ図5）を示したものである。



図3 学習課題を再設定するための他者との交流の様子

S4：国が内陸部に経済特区のような地域をつくることを提案しているかを入れてみるといいよ。また、沿海部と内陸部の収入の変化を課題に入れてみるといいかも。

S5：一極集中している地域は経済が発展しているのだから、他の地域へ支援をしていないかも課題に入れてみるといいかも。

S6：低賃金の人の暮らしについては、日本の生活との共通点や難民との違いを入れてみていいかもね。

図4 他者へのアドバイスの記述

S7：自分ではよい学習課題が設定できたと思ったけど、友達からアドバイスをしてもらって、自分では気付かなかったことがあり、よりよい学習課題を設定することができました。また、これから他の教科でも、友達からのアドバイスを受けて自分に取り入れていきたいと思いました。

S8：友達からアドバイスしてもらって、社会的な視点が増えたり、新しい考えに気付いたりすることができて、よりよい学習課題を設定することができました。

図5 生徒の振り返りの記述（一部抜粋）

(3) 考察

今回の実践授業では、生徒が疑問に思った社会的事象について「気になるシート」を活用して設定した課題について、他者との交流の場を通して再設定する活動を行った。特に、他者との交流から、社会的な見方・考え方の視点を踏まえた学習課題が設定できたり、新たな考えに気付いたりすることができた生徒が多く、課題設定①から課題設定②への記述の内容に変容が見られた（図6）。また、生徒自ら設定した学習課題をよりよいものにするために、思考の広がりや深い学びにつなげることができた。

| | 課題設定① | 社会的な視点 | 課題設定② | 社会的な視点 |
|-----|---|--------|--|---------------|
| 生徒A | ソウル周辺に一極集中しているが、一極集中していると他の地域とのどのような違いができ、どんな影響があるのか。 | 相違性 | ソウル周辺に一極集中しているが、一極集中していると他の地域とのどのような違い、影響があり、一極集中しているところはしていない所を支えるために活動をしているのか。 | 相違性 背景と解決策 |
| 生徒B | なぜ、貧困層が生まれてしまったのか。 | 背景 | 貧困層の人たちはどんな生活をしていて、経済成長が進んでいるところに住んでいる人の生活とどのように違うのか。また、国は対策をとっているのか。 | 相違性 背景と解決策 |

図6 「気になるシート」への記述（一部抜粋）

IV 研究のまとめ

1 成果

生徒が単元の学習を通して疑問に思ったことを、「気になるシート」を活用して毎時間蓄積させたことにより、生徒の学びや、気付き等を把握することができた。更に、疑問に思ったことを自分の学習課題として設定したことで、主体的に学びに向かう生徒の姿が見られた。また、他者との意見交流の場において意見を共有させたことで、生徒が新たな考えに気付くことができた。

2 課題

他者へのアドバイスなどが苦手な生徒に対する、教師の支援を明確にしておく必要性を感じた。また、個の学びを更に深めさせるためには、学習活動を通して学んだ社会的な見方や考え方について、生徒に整理させたり、まとめさせたりする時間を十分に確保することが必要であると考えた。

V 資料

クラウド型表計算アプリを使用した「気になるシート」

(小單元ごとに生徒が気になった疑問を毎時間蓄積したもの)

[illegible]

授業で使ったワークシート

社会科ワークシート

組 番 氏名

～単元を置く学習課題～

なぜ、アジア州は急激に経済成長してきたのか。

めあて

「気になるシート」をもとに、友達と交流しながら自分の学習課題を設定しよう。

自ら決定した「学習課題」

学習課題を設定した理由：

○友達からのアドバイスを記入しよう。（「異なる視点」も考えてみたかな）

※社会的な視点：「変化」「相違性」「課題と解決策」等

友達からのアドバイスをもとに設定した「学習課題」

学習課題を再設定した理由（学習課題に取り入れた「社会的な視点」も記入）

学習課題に対する「予想」と「探究していくために必要な情報」を考えよう。

・学習課題に対する私の予想は、

・探究していくために必要な情報

{

}

※「予想」については、学習課題に対する「自分なりの考え」を書いてみよう。

例) 日本の都市部と農村部の経済発展の様子を探究したい。

・私の予想は、都市部には〇〇〇が多くあったり、□□□が発展していると思う。農村部は△△△のような課題があると考えます。解決策としては◇◇◇に取り組むとよいと思う。

※「必要な情報」について書いてみよう。

例) 日本の都市部と農村部の経済発展の様子を探究したい。

↓

必要な情報
人口 企業の数 就業率 平均賃金 交通網 など

本時の学習の振り返り

[illegible]

話し合う際のポイント（「社会的な視点」等）

- | | |
|---|---|
| ① | 単元を貫く学習課題である「アジア州の急速な経済成長」を意識した学習課題になっているか。 |
| ② | 「社会的な視点」が入っているか。（変化、相違性、課題と解決策 等） |
| ③ | 他者の学習課題に対して、異なる「社会的な視点」について提案しているか。 |